

子どものツルのおちるのをみつけて、そのすぐまえを  
とんでいたツルが、するどくなきました。  
すると、たちまち、たいへんなことがおこりました。  
まえをとんでいた、九十九羽のツルが、いっときに、  
さっと、下へ下へとおちはじめたのです。  
子どものツルよりも、もっとはやく、月の光をつらぬい  
てとぶ、ぎんいろの矢のやうにはやく、おちました。

